

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とろんこアカデミー				公表日	2025年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	支援時間をずらし、各児童に個室を確保している。運動を行えるスペースは順番を決め、可能な限り身体を動かせるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	マンツーマンでの支援を実施している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	個室には最低限度の物で抑え、視覚に配慮している。	建物の関係上、施設前に階段がある。配線を隠すために配線カバーを敷いている箇所がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	支援終了ごとに消毒の実施。就業開始と同時に施設内の一斉清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	個室を完備。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	日々の支援記録を基に職員会議、スタッフとの共有を実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	施設の支援方法上、困難でないものは改善可能な範囲で行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎朝の朝礼、隔週の全体での朝礼等、職員が話せる機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		第三者からの評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	行政に定められた回数で研修の実施。個別に参加した研修のフィードバックを行う等、知識の共有を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	計画担当職員、支援担当者の意向を踏まえた計画の作成を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	個別支援計画書の細部化を図ることで、準備物等が明確化になるよう努めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	児童発達支援管理責任者がガイドラインを熟読し、日々の作成でも確認を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2		学習支援がメインツールということもあり、児童の理解を深めるために曜日によって支援が固定されている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	3		マンツーマンでの支援を求め、利用されているご家庭が多いので、集団活動は取り入れていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	毎日のミーティング実施。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3		1時間ごとのコマ割りでの支援を行っているため、職員の退勤にばらつきがある。全体での振り返りは難しいので、記録ノートの充実を図っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	各担当者が支援終了後に記録を作成。その記録に基づいて支援内容の変更や継続等を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	更新毎に必ず実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	当日の支援内容変更に関しては児童の意見を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	適宜、必要に応じて連携を徹底している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		学習支援がメインツールということもあり、就学後、時間が経ってからの検査となる方が多いため、連携が難しい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8		コマ割りでの支援を実施しているため、一斉に揃うことがないので、実施していない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	連絡ツールを駆使し、保護者からも連絡が取りやすい状況を作っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時、改定時に必ず説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2	実際にご利用いただいている児童と保護者の意思にズレが生じないように、入念に連携を図り、実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	ご家庭からの面談のお願いについては、必ず対応。施設から気になったご家庭については、日程調整を行い、面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	6	兄弟間で活動を希望しており、保護者からの許可が出ている家庭のみ実施している。	自力通所ということもあり、共働きの家庭も多く、希望があるご家庭以外は保護者会等は実施していない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情等があった場合は速やかに会議を開き、解決に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	日々の活動をHPに掲載している。また、不定期で施設内に掲示物を貼ったり、保護者案内を出している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	実態に合わせた配慮を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7		個別支援のため全体での行事を行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	法人で定められた訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	契約時、面談時に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	6		クッキング等の実施がないため、フェイスシート以外でのアレルギー調査は実施していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	法人で定められた研修、訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	ヒヤリハットの作成、事務所内掲示を行い、職員に確認いただく体制を整えている。	周知を徹底する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	法人で定められた研修、訓練を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2	該当児童が現在までいないが、今後、支援で必要に感じれば保護者と連携、同意を頂いた上で実施する。		